

院内集会

激化するヘイトスピーチをどう止めるか ～攻撃を向けられた被害者たちの声を聞く

- ・ 日時：2013年6月20日(木) 15:30～17:00
- ・ 会場：参議院議員会館 B109
(東京都千代田区永田町2-1-1、東京メトロ「永田町」駅1番出口)
- 入館証の配布：15:15～15:30、参議院議員会館1階ロビーにて
- ・ 参加費：無料

今年に入り、東京都新宿区大久保や大阪市生野区鶴橋などの、コリアンが多く住む、あるいは多く店舗を出している地域において、「鶴橋大虐殺を実行する」「ウジ虫ゴキブリ朝鮮人を駆除せよ」「良い韓国人も悪い韓国人もどちらも殺せ」等の差別と憎悪に満ちた民族的マイノリティへの差別、暴力を煽る排外主義的なデモが、毎週のように行われています。

これらは、特定の民族、国籍、社会的身分等の属性を理由として、その集団もしくはその集団に属する個人(ら)に対する差別、暴力等を煽動したり、侮蔑、脅迫、排除する表現行為(ヘイト・スピーチ)です。

これに対しては、安倍晋三首相が5月7日の参院予算委員会で「極めて残念」と発言するなど、国会でも取り上げられてきていますが、現在法では、特定の人(たち)を対象としていないヘイト・スピーチは違法ではないため、野放しとなっています。

日本が加盟している人種差別撤廃条約第2条1項dは、「各締約国は、状況により必要とされる場合は立法を含むすべての適当な方法により、いかなる個人や集団、組織による人種差別も禁止し、終了させる」としています。今起きているヘイト・スピーチは、その「個人や集団、組織による人種差別」にあたり、国が何らかの対策を行うことが条約に基づく法的義務であるといえます。

ヘイト・スピーチを考える上で最も忘れてはならないことは、ヘイト・スピーチは、攻撃のターゲットとされた人びとの心身を深く傷つけているという事実です。大久保や鶴橋で生活するコリアンの人たちをはじめ、多くの在日外国人がこの間のヘイト・スピーチに恐怖や憤り、絶望を感じています。そして、被差別部落、沖縄、アイヌの人たちも、このようなヘイト・スピーチで苦しめられ、傷つけられた経験を持っています。

そこで私たちは、いま起きているヘイト・スピーチを止めるために、何よりも被害者たちのことが考えられるべきであり、直接その貴重な声を伝える機会をもうけるために、院内集会を開催することとしました。

あわせて、国会で今後きちんとした議論がなされていくための環境づくりとして「ヘイトスピーチに関する全国会議員アンケート」を実施し、その結果を院内集会で発表します。是非ご参加ください。

■プログラム■

- ヘイトスピーチの被害者たちの訴え
鄭映恵さん(教員)
浦本誉至史さん(連続大量差別葉書事件被害者)
朝鮮学校保護者、ほか
- ヘイトスピーチに関する
緊急国会議員アンケートの結果発表
- この間のヘイトスピーチの現況報告・
今後の取組みに向けた提言

参加には、事前申込みが必要です!!

★申込み締切：6月19日(水)

- ・ 下記の主催団体事務局(IMADR-JC)の連絡先にメールまたはFAXでお申込ください。
- ・ メールまたはFAXの件名に「6月20日院内集会参加希望」とご記入のうえ、本文に、お名前、住所、電話番号、メールアドレスまたはFAX番号をご記入ください。
- ・ 返信には数日ほどお時間をいただくこともあることをご了承ください。

参加にあたってのお願い

発言していただく当事者の方々を狙い、さらに攻撃ようとする心ない人たちが存在するため、当集会は、集会の趣旨に賛同できない方は参加をお断りし、事前の申し込み制とします。

また、当日の写真撮影、ビデオ撮影をご希望の方は、参加申し込みの際にその旨をご記入ください。なお、朝鮮学校保護者の顔がわかる写真及びビデオ撮影をご遠慮ください。ビデオは同時放映はせず、録画をインターネット等に投稿する前に、主催者からの要請事項があれば、それに沿っていただくようお願いいたします。

主催：人種差別撤廃 NGO ネットワーク

【事務局】反差別国際運動 日本委員会 (IMADR-JC)

Eメール：event@imadr.org FAX：03-6280-3102